



平成24年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年10月29日

上場会社名 ヒューリック株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3003 URL http://www.hulic.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西浦 三郎
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 経理部長 (氏名) 中根 繁男 TEL 03 (5623) 8100
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月13日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年12月期第3四半期の連結業績（平成24年1月1日～平成24年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第3四半期	64,493	—	15,543	—	13,948	—	8,799	—
23年12月期第3四半期	8,988	△16.5	4,279	△3.4	1,663	△41.3	△1,895	—

(注) 包括利益 24年12月期第3四半期 6,913百万円 (—%) 23年12月期第3四半期 △8,973百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年12月期第3四半期	17.42	17.41
23年12月期第3四半期	△47.28	—

(注) 当社は、平成24年7月1日付でヒューリック株式会社（合併前のヒューリック株式会社をいい、以下「旧ヒューリック株式会社」といいます。）と合併いたしました。本合併は、企業結合会計上の「逆取得」に該当するため、平成24年12月期第3四半期については、旧ヒューリック株式会社のみ平成24年1月1日～平成24年6月30日の連結業績に、当社の平成24年7月1日～平成24年9月30日の連結業績を合算したものととなります。そのため、対前年同四半期増減率の記載を省略しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年12月期第3四半期	632,999	117,423	18.3
23年12月期	165,613	24,153	14.6

(参考) 自己資本 24年12月期第3四半期 116,091百万円 23年12月期 24,097百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年12月期	—	5.00	—	0.00	5.00
24年12月期	—	6.00	—	—	—
24年12月期（予想）	—	—	—	2.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成24年7月1日付の合併が企業結合会計上の「逆取得」に該当し、当社が被取得企業、旧ヒューリック株式会社が取得企業となるため、平成24年12月期第2四半期末の配当については、旧ヒューリック株式会社における配当実績を記載しており、平成24年12月期通期の合計は記載しておりません。なお、当社と旧ヒューリック株式会社との合併比率は1 : 3となっております。

3. 平成24年12月期の連結業績予想（平成24年1月1日～平成24年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	80,000	—	21,500	—	18,000	—	9,500	—	33.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

連結業績予想については、平成24年7月1日付の合併が企業結合会計上の「逆取得」に該当するため、旧ヒューリック株式会社のみ平成24年1月1日～平成24年6月30日の連結業績に、当社の平成24年7月1日～平成24年12月31日の連結業績を合算したものととなっております。そのため、対前期増減率の記載を省略しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 2社 （社名）Hulic UK Limited、仙台一番町開発特定目的会社、除外 1社 （社名）－
（注）詳細は、添付資料5ページ「2. サマリー情報（注記事項）」に関する事項（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：有
- ③ 会計上の見積りの変更：有
- ④ 修正再表示：無

（注）「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当します。詳細は、添付資料5ページ「2. サマリー情報（注記事項）」に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年12月期3Q	535,430,271株	23年12月期	41,330,382株
② 期末自己株式数	24年12月期3Q	3,734,831株	23年12月期	1,229,669株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	24年12月期3Q	504,967,182株	23年12月期3Q	40,095,844株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	11
(4) セグメント情報等	11
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社は、平成24年7月1日付で当社を存続会社、旧ヒューリック株式会社を消滅会社とする吸収合併をおこなっております(以下、合併前の当社を「旧昭栄株式会社」という。)。本合併は、企業結合会計上の「逆取得」に該当し、取得企業は旧ヒューリック株式会社、被取得企業は旧昭栄株式会社となるため、当第3四半期連結累計期間の連結業績については、旧ヒューリック株式会社のみ平成24年1月1日～平成24年6月30日の連結業績に、当社の平成24年7月1日～平成24年9月30日の連結業績を合算したものととなります。また、連結財政状態については、合併直前の旧昭栄株式会社の個別財務諸表上の資産・負債を時価評価した上で、旧ヒューリック株式会社の連結貸借対照表に引き継いでおります。このため、前連結会計年度末残高と当第3四半期連結累計期間の期首残高との間には連続性がなくなっております。

本合併の影響により、旧昭栄株式会社の前第3四半期連結累計期間の連結業績及び前連結会計年度末の連結財政状態を合併後の当社の実績と比較した場合、当第3四半期連結累計期間の連結業績及び当第3四半期連結会計期間末の連結財政状態は大幅に増加しております。また、「(1) 連結経営成績に関する定性的情報 ① 連結経営成績に関する分析」及び「(2) 連結財政状態に関する定性的情報」においては対前年同四半期及び前期末との比較は記載を省略し、「(1) 連結経営成績に関する定性的情報 ① 連結経営成績に関する分析」においては平成24年1月1日～平成24年6月30日の分析内容は対旧ヒューリック株式会社における実績を記載しております。

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

① 連結経営成績に関する分析

当第3四半期連結累計期間の連結業績は、企業向けオフィスビルの賃貸を主とした安定した不動産賃貸収入をベースとし、営業収益は64,493百万円、営業利益は15,543百万円、経常利益は13,948百万円、四半期純利益は8,799百万円となりました。

各セグメントの業績は、次の通りであります。

(各セグメントの営業収益は、セグメント間の内部営業収益、振替高を含みます。)

(不動産事業)

当社グループの中核事業は、東京23区を中心に、約170件の賃貸物件・賃貸可能面積約75万㎡を活用した不動産賃貸業務であります。当社のビジネスモデルをより強固なものにすべく、築年数の古い物件を中心に立地の特性に適した建替を進めることを引き続き最大の経営課題として取り組んでおります。

当第3四半期連結累計期間におきましては、ヒューリック駒込ビル(平成24年1月竣工)、ヒューリックレジデンス津田沼(平成24年3月竣工)、ヒューリックレジデンス駒込(平成24年3月竣工)、アリストージュ経堂(平成24年5月竣工)、ヒューリック雷門ビル(平成24年7月竣工)及びヒューリックガーデン津田沼(平成24年9月竣工)が竣工いたしました。なお、不動産事業に配分されない全社資産として、ヒューリック本社ビルが平成24年9月に竣工しております。

そのほか、西大井寮(平成25年3月竣工予定)、鷹番町家庭寮(平成25年5月竣工予定)、代々木西原家庭寮(平成25年6月竣工予定)及び武蔵野南北寮(平成25年10月竣工予定)の建替計画も順調に進行しております。

なお、当第3四半期連結累計期間におきましては、新たに津田沼南家庭寮(平成25年5月竣工予定)、千葉センタービル(平成26年3月竣工予定)、ヒューリック新宿ビル(平成26年10月竣工予定)及び世田谷Fビル(平成26年12月竣工予定)の建替を決定いたしました。

当社は、将来にわたる収益力強化の観点から、優良な新規物件の選別取得を進めておりますが、当第3四半期連結累計期間におきましては、ヒューリック銀座7丁目ビル(東京都中央区)、ヒューリック有楽町ビル(東京都千代田区)及びニュー虎ノ門ビル(東京都港区)を取得するとともに、投資リスク分散の観点から海外への投資を開始し、英国・ロンドンにおいて、新たに設立した連結子会社Hulic UK Limitedを通じて、103 Mount Street(英国ロンドン市)の持分を取得いたしました。そのほか、平成24年7月1日付の合併に伴い、主に都心を中心とした47物件(合併時における、連結財務諸表上、旧昭栄株式会社から旧ヒューリック株式会社へ引き継がれた物件数であります。)を取得し、更に現在その他の物件につきましても検討中であります。なお、当第3四半期連結累計期間において、本合併により増加した物件のうち12物件を販売用不動産に振替えております。

また、新たな収益源として積極的に展開をはかっておりますPPP(パブリック・プライベート・パートナーシップ)事業におきましては、前期に旧ヒューリック株式会社を代表企業とする企業グループが事業者として決定いたしました「北海道東京事務所用地有効活用事業」(東京都千代田区)や、既存の取り組み案件である「旧福井中学校跡地活用事業」(東京都台東区)及び「芝浦水再生センター再構築に伴う上部利用事業」(東京都港区)も順調に進行し、更に現在その他の案件につきましても検討中であります。

販売用不動産につきましても、新たな収益機会の創出としてウェアハウジング機能活用による物件売買に取り組んでおり、当第3四半期連結累計期間におきましては4物件を売却いたしましたほか、共同開発の分譲マンション(埼玉県戸田市)につきましても販売状況は順調に推移しております。

このように、当セグメントにおける事業は順調に進行し、竣工物件や取得物件、合併により承継した物件の賃

料収入に加え、多額の販売用不動産の売却が寄与した影響等により、当第3四半期連結累計期間におきましては、営業収益は57,151百万円、営業利益は17,259百万円となりました。

(保険事業)

保険事業におきましては、連結子会社であるヒューリック保険サービス株式会社が、国内・外資系の保険会社と代理店契約を結んでおり、法人から個人まで多彩な保険商品を販売しております。保険業界の事業環境は引き続き厳しい環境にありますが、既存損保代理店の営業権取得を重点戦略として、法人取引を中心に拡充しております。

この結果、当セグメントにおける営業収益は1,866百万円、営業利益は403百万円となりました。

(その他)

その他におきましては、連結子会社であるヒューリックビルド株式会社による当社保有ビル等の営繕工事、テナント退去時の原状回復工事、新規入居時の内装工事を中心に受注実績を積み上げておりますほか、連結子会社であるヒューリックオフィスサービス株式会社による給食業務の受託事業等が寄与した結果、営業収益は8,197百万円、営業利益は393百万円となりました。

② 特別目的会社(SPC)の連結について

特別目的会社(SPC)の連結化の影響は以下の通りであります。

なお、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度は、旧ヒューリック株式会社の実績を記載いたしております。

前第3四半期連結累計期間(自平成23年1月1日至平成23年9月30日)

(単位:百万円)

	連結しない場合	連結した場合	影響額	影響度(%)
営業収益	34,092	33,947	△145	△0.42
営業利益	14,054	14,640	585	4.16
経常利益	12,253	12,374	121	0.99
四半期純利益	6,498	6,553	54	0.83

前連結会計年度(平成23年12月31日)

(単位:百万円)

	連結しない場合	連結した場合	影響額	影響度(%)
資産	453,306	476,244	22,937	5.06
負債	350,169	371,887	21,717	6.20
純資産	103,136	104,356	1,220	1.18

当第3四半期連結累計期間(自平成24年1月1日至平成24年9月30日)

(単位:百万円)

	連結しない場合	連結した場合	影響額	影響度(%)
営業収益	63,971	64,493	522	0.81
営業利益	15,218	15,543	325	2.13
経常利益	13,833	13,948	114	0.83
四半期純利益	8,749	8,799	49	0.56
資産	624,064	632,999	8,934	1.43
負債	507,977	515,575	7,597	1.49
純資産	116,086	117,423	1,337	1.15

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

財政状態の変動状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、632,999百万円となりました。当社グループにおいては、中核事業である不動産賃貸業務をより強固なものにすべく、築年数の古い物件を中心に特性に適した建替を積極的に推進しております。主な内容は、販売用不動産22,860百万円、建物及び構築物132,959百万円、土地320,675百万円、借地権19,806百万円であります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、515,575百万円となりました。その主な内容は、短期借入金128,545百万円、長期借入金307,401百万円であり、当社グループの借入金残高は設備投資等の資金調達に伴い、合計435,946百万円となっておりますが、このうち特別目的会社(SPC)のノンリコースローンが7,431百万円含まれております。金融機関からの資金調達については、高い収益力を背景として安定的に低コストで調達をおこなっております。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、117,423百万円となりました。このうち株主資本合計は、113,115百万円となり、その他の包括利益累計額合計は、2,975百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績予想は平成24年2月2日に公表いたしました通り、旧ヒューリック株式会社との合併(効力発生日:平成24年7月1日)を前提とした新会社の予想であり、変更はありません。当該通期の連結業績予想は、平成24年7月1日付の合併が企業結合会計上の「逆取得」に該当するため、旧ヒューリック株式会社のみ平成24年1月1日～平成24年6月30日の連結業績に、当社の平成24年7月1日～平成24年12月31日の連結業績を合算したのとなっております。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当社は、平成24年7月1日付の旧ヒューリック株式会社との合併に伴い、同社の連結子会社を連結の範囲に含めておりますが、このうち、特定子会社に該当する会社は、Hulic UK Limited及び仙台一番町開発特定目的会社の2社となっております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(有形固定資産の減価償却方法の変更)

当社及び連結子会社は、従来、有形固定資産の減価償却方法について、主として定率法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より定額法に変更しております。

当社グループにおいては、不動産賃貸事業の強化という基本戦略に基づき、近年、建替事業を本格化させるとともに、優良物件の選別取得を進め、賃貸資産総額が増加し、新築物件の賃貸資産総額に占める割合も増加いたしました。この結果、競争力のある物件の増加により収益力が安定強化されるとともに、建替案件の安定的稼働により、不動産賃貸事業の基盤が強化された状況にあります。

このような経営環境の変化を受け、今後の中長期的な収益力の強化と成長基盤を確立するため、不動産賃貸事業の一層の強化を骨子とした、平成24年度を初年度とする新中期経営計画を策定いたしました。

これらを契機として、長期的かつ安定的に稼働する不動産賃貸事業を主力事業とする当社グループにおいては、賃貸不動産に係る将来の経済的便益の消費パターンを踏まえ検討した結果、取得原価を耐用年数にわたって均等に配分する定額法に変更することがより合理的であると判断いたしました。

この変更により、従来の方によった場合と比較して、当第3四半期連結累計期間の減価償却費が657,845千円減少し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益が657,845千円増加しております。

なお、セグメント情報に与える影響は、当該箇所に記載しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,364,881	22,381,060
受取手形及び売掛金	21,655	—
受取手形及び営業未収入金	—	1,995,147
商品	—	13
販売用不動産	—	22,860,618
未成工事支出金	—	17,426
貯蔵品	—	29,315
繰延税金資産	—	7,040,725
その他	908,757	914,906
貸倒引当金	△30	△1,933
流動資産合計	19,295,263	55,237,281
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	51,244,983	132,959,568
機械装置及び運搬具(純額)	—	744,835
土地	64,049,037	320,675,441
建設仮勘定	—	6,635,491
その他(純額)	753,018	766,422
有形固定資産合計	116,047,039	461,781,759
無形固定資産		
のれん	—	1,000,989
借地権	—	19,806,791
その他	—	485,585
無形固定資産合計	2,763,534	21,293,366
投資その他の資産		
投資有価証券	17,157,464	87,774,836
不動産投資有価証券	9,911,307	—
差入保証金	—	2,951,568
繰延税金資産	—	429,397
その他	485,241	3,469,290
貸倒引当金	△46,313	△1,237
投資その他の資産合計	27,507,698	94,623,855
固定資産合計	146,318,272	577,698,982
繰延資産		
繰延資産合計	—	63,018
資産合計	165,613,536	632,999,281

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
短期借入金	31,897,008	128,545,258
未払費用	—	1,799,697
未払法人税等	—	813,164
前受金	—	3,343,114
賞与引当金	14,129	174,368
役員賞与引当金	—	51,825
その他	2,952,982	3,577,398
流動負債合計	34,864,119	138,304,826
固定負債		
社債	—	12,100,000
長期借入金	97,086,066	307,401,035
繰延税金負債	—	17,214,645
退職給付引当金	39,999	389,880
役員退職慰労引当金	—	13,577
長期預り保証金	—	38,459,965
その他	9,470,208	1,691,493
固定負債合計	106,596,274	377,270,597
負債合計	141,460,393	515,575,424
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,207,089	8,224,485
資本剰余金	8,629,312	24,289,133
利益剰余金	8,071,852	80,730,060
自己株式	△2,996,668	△127,753
株主資本合計	21,911,586	113,115,925
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,185,745	3,589,734
繰延ヘッジ損益	—	△650,467
為替換算調整勘定	—	35,994
その他の包括利益累計額合計	2,185,745	2,975,261
新株予約権	55,810	—
少数株主持分	—	1,332,670
純資産合計	24,153,142	117,423,857
負債純資産合計	165,613,536	632,999,281

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)
売上高	8,988,412	—
売上原価	4,041,630	—
売上総利益	4,946,781	—
営業収益	—	64,493,898
営業原価	—	43,308,377
営業総利益	—	21,185,520
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	157,465	—
賞与引当金繰入額	18,443	—
その他	491,841	—
販売費及び一般管理費合計	667,749	5,642,092
営業利益	4,279,031	15,543,428
営業外収益		
受取利息	—	71,602
受取配当金	—	694,664
持分法による投資利益	16,254	285,796
還付加算金	8,329	—
貸貸解約関係収入	—	573,540
その他	3,320	226,269
営業外収益合計	27,904	1,851,872
営業外費用		
支払利息	1,938,275	3,307,858
有価証券運用損	697,888	—
その他	7,569	138,881
営業外費用合計	2,643,734	3,446,740
経常利益	1,663,201	13,948,560
特別利益		
固定資産売却益	—	263,122
投資有価証券売却益	11,711,811	342,296
負ののれん発生益	—	2,312,300
その他	70,064	107,652
特別利益合計	11,781,875	3,025,372

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年9月30日)
特別損失		
固定資産売却損	—	481
固定資産除却損	—	1,741,912
建替関連損失	—	1,718,718
減損損失	9,942,267	—
投資有価証券売却損	—	7,508
投資有価証券評価損	—	50,633
貸倒引当金繰入額	—	390
その他	1,135,210	11,551
特別損失合計	11,077,477	3,531,196
税金等調整前四半期純利益	2,367,600	13,442,737
法人税、住民税及び事業税	—	3,544,854
法人税等調整額	—	1,035,675
法人税等合計	4,263,288	4,580,530
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△1,895,687	8,862,206
少数株主利益	—	63,039
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,895,687	8,799,167

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△1,895,687	8,862,206
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△7,077,594	△1,412,579
繰延ヘッジ損益	—	△650,467
為替換算調整勘定	—	35,896
持分法適用会社に対する持分相当額	—	78,378
その他の包括利益合計	△7,077,594	△1,948,772
四半期包括利益	△8,973,282	6,913,434
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△8,973,282	6,850,394
少数株主に係る四半期包括利益	—	63,039

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成23年1月1日至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	不動産	有価証券	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,326,163	1,662,249	8,988,412	—	8,988,412
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	7,326,163	1,662,249	8,988,412	—	8,988,412
セグメント利益	3,284,332	1,631,601	4,915,933	△636,901	4,279,031

(注) 1. セグメント利益の調整額△636,901千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

前連結会計年度の末日に比して、当第3四半期連結累計期間の「有価証券」セグメントの資産の金額が36,229,300千円減少しておりますが、その主な理由は、投資有価証券(キヤノン株式他)の売却によるものであります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「不動産」セグメントにおいて、当社が保有する賃貸用不動産のうち、商業施設について、帳簿価額に対して著しく時価が下落したため、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、減損損失として計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては9,942,267千円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成24年1月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	不動産事業	保険事業	計				
営業収益							
外部顧客への 営業収益	57,005,636	1,866,916	58,872,552	5,621,346	64,493,898	—	64,493,898
セグメント間の 内部営業収益 又は振替高	145,728	—	145,728	2,576,403	2,722,132	△2,722,132	—
計	57,151,364	1,866,916	59,018,281	8,197,749	67,216,030	△2,722,132	64,493,898
セグメント利益	17,259,389	403,333	17,662,722	393,094	18,055,817	△2,512,389	15,543,428

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建築工事請負、設計・工事監理業務等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△2,512,389千円には、セグメント間取引消去△297,350千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,215,038千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理部門に係る費用であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整をおこなっております。
4. 「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示(有形固定資産の減価償却方法の変更)」に記載の通り、従来、有形固定資産の減価償却方法について、主として定率法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より、定額法に変更しております。この変更により、従来の方法によった場合と比較して、当第3四半期連結累計期間におけるセグメント利益は、「不動産事業」で649,935千円、「その他」で957千円増加しております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

当社は、平成24年7月1日付で、当社を存続会社、旧ヒューリック株式会社を消滅会社とする吸収合併をおこなっております。これにより、前連結会計年度の末日に比べ、当第3四半期連結累計期間のセグメントの資産の金額は、「不動産事業」において413,938,061千円、「保険事業」において2,516,591千円、「その他」において5,487,076千円増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

当社は、平成24年7月1日付で、当社を存続会社、旧ヒューリック株式会社を消滅会社とする吸収合併をおこなっております。これにより、負ののれん発生益が2,312,300千円発生しておりますが、各セグメントには配分しておりません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成24年7月1日付で旧ヒューリック株式会社と合併いたしました。本合併は、企業結合会計上の「逆取得」に該当し、当社が被取得企業、旧ヒューリック株式会社が取得企業となるため、当第3四半期連結累計期間の株主資本の期首残高は旧ヒューリック株式会社の連結期首残高となっております。そのため、前連結会計年度の株主資本の連結会計年度末残高と当第3四半期連結累計期間の株主資本の期首残高との間には連続性がなくなっております。

当第3四半期連結累計期間における株主資本の各項目の主な変動事由及びその金額は、次の通りであります。

	株主資本(千円)				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成24年1月1日残高 (注) 1	12,326,879	11,966,879	73,990,747	△123,023	98,161,482
当第3四半期連結累計期間 の変動額					
新株の発行(新株予約権 の行使)	25,720	25,720			51,441
合併による増減(注) 2	△4,128,114	12,296,533		△4,639	8,163,779
剰余金の配当			△2,059,853		△2,059,853
四半期純利益			8,799,167		8,799,167
自己株式の取得				△90	△90
当第3四半期連結累計期間 の変動額合計	△4,102,393	12,322,254	6,739,313	△4,730	14,954,443
平成24年9月30日残高	8,224,485	24,289,133	80,730,060	△127,753	113,115,925

(注) 1. 「平成24年1月1日残高」は、旧ヒューリック株式会社の連結期首残高を記載しております。

2. 「合併による増減」は、旧ヒューリック株式会社を取得企業、当社を被取得企業としてパーチェス法を適用したことによる増減であります。